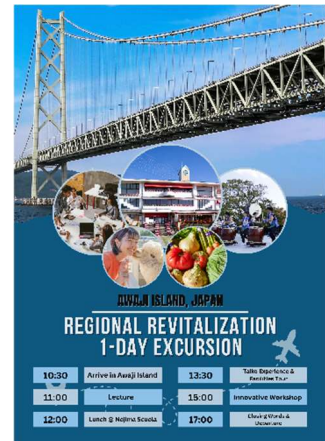


未来のリーダー「JICA 留学生」が淡路島へ ～パソナの地方創生への取り組みから学ぶ～

JICA 関西は、2020年に本社機能の一部移転に着手した人材派遣会社パソナグループ（以下、パソナ）との初めてのコラボ企画として、7月14日（金）に、JICA 留学生が淡路島へ渡り、地方創生への取り組みについて学ぶプログラムを実施します。

実際に同社の職員から話を聞き、廃校となった小学校をリノベーションした複合施設「のじまスコーラ」を視察するとともに、体育館で和太鼓体験、カフェで地元野菜を堪能するなど、五感で楽しみながら学ぶ内容となっています。また、ワークショップでは、地域活性化を促す一大イベント「EXPO 2025 大阪・関西万博」に向けて、25か国から集まった留学生30名が、自分たちならどのような地域活性化イベントを企画するかユニークなアイデアを出しあいます。留学生たちの学びや発想・熱い思いを肌で感じていただけますので、ぜひ淡路島での取材をご検討ください。

このプログラムは、JICA 留学生が日本の近代化の歴史や発展を深く知ることを目的とするJICAの「地域理解プログラム」の一環で実施するものです。「社会の問題を解決すること」を理念に幅広くビジネス展開するパソナ。人々が安心して暮らせる社会や強靱な社会の実現を目指し、「信頼で世界をつなぐ」というビジョンのもとに活動するJICA。支援を支援のみで終わらせるのではなく、現地での雇用を創出し、自立性を持たせた事業に展開していく重要性。さらに、入り口だけでなく、出口までトータルにサポートしていく大きな流れを生み出す発展性。まさに今動いている淡路島で多くを学び、留学生がそれらを母国の発展のために活かすことを目標としています。



（日時、場所）2023年7月14日（金） ※雨天決行

時間	場所	内容
11:00～12:00	グローバルハブスクエア	セミナー（パソナによる地方創生への取り組みについて）
12:00～13:30	のじまスコーラ・カフェ	ランチ（淡路島の野菜等を味わう）
13:30～15:00	のじまスコーラ・体育館	和太鼓体験
15:00～17:00	グローバルハブスクエア	ワークショップ「EXPO 2025大阪・関西万博」へのアイデア
※グローバルハブスクエア（淡路市野島常磐1042「海神人の食卓“宴”」横）		

*JICA 留学生：開発途上国からJICAの人材育成プログラムで来日し、日本の大学院（修士課程あるいは博士課程）で学んでいる留学生。自国の行政官、研究者、民間企業出身者など様々ですが、将来、国の発展を支えるリーダーとなり、日本と途上国をつなぐ架け橋となることが期待されています。現在、関西2府4県では、アジア、アフリカ、中南米などから約270名のJICA 留学生が、13の大学の大学院で学んでいます。

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 関西 開発大学院連携課 花木 仁奈

TEL: 080-7200-6450 e-mail: Hanaki.Nina@jica.go.jp